

《どうでもいい話、その 503》

どうでもよくない皆様へ

この頃 体のバランスをとるのが難しくなってきました。テレビで、目をつぶって両手を水平にひろげ、片足立ちで何秒立っていただけるかのバランステストをやっていましたが、やってみると3秒ともちません。このことは、風呂からあがってパンツをはくときに明白となります。私はパンツをはくときには右足からはきますが、パンツを両手でひろげ右足の穴に狙いを定め、“構え”の姿勢をとります。なにしろ何秒間かは片足立ちの状態になるので、バランスをくずせば構えの姿勢のままつんのめって横倒しになる恐れがあります。すっ裸の横倒しは恐ろしいことです。若い頃には“構え”は要らずスムーズにいけたのに、いまは事前の“心構え”と“構えの姿勢”が必要です。にもかかわらず先日、よろめいてパンツの中央のところに右足が突き当たってしまい、その結果、トントンとつんのめって壁に頭をぶつけてしまいました。この怒りの矛先はパンツに向かい、睨みつけ「コノヤロー！」とものしるのでした。

あと10日余りで元号が変わります。この“どうでもいい話”も「弊声」から「令話」へ。

岩波より